

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年9月29日 (2016.9.29)

【公開番号】特開2014-121431(P2014-121431A)
 【公開日】平成26年7月3日 (2014.7.3)
 【年通号数】公開・登録公報2014-035
 【出願番号】特願2012-279080(P2012-279080)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月12日 (2016.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、

前記識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、前記可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、

開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示において、特定演出を実行するか否かを決定する特定演出決定手段と、

前記特定演出決定手段により前記特定演出を実行することが決定されたことにもとづいて、前記識別情報の可変表示中に前記特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、

前記可変入賞装置制御手段は、

前記可変入賞装置を第 1 開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、前記可変入賞装置を前記第 1 開放態様とは異なる第 2 開放態様により開放状態に制御可能であり、

前記第 2 開放態様により開放状態に制御する場合には、前記可変入賞装置を第 1 期間にわたって開放状態に制御した後、前記可変入賞装置を前記第 1 期間よりも長い第 2 期間にわたって開放状態に制御し、

前記特定演出決定手段は、前記第 1 開放態様により開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示と、前記第 2 開放態様により開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示とで、異なる割合で前記特定演出を実行すると決定し、

前記報知演出実行手段は、前記可変入賞装置が前記第 2 開放態様により開放状態に制御されるときに前記報知演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、
遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、
前記識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、前記可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、
前記識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段と、
前記可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、
前記可変入賞装置制御手段は、
前記可変入賞装置を第 1 開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、前記可変入賞装置を前記第 1 開放態様とは異なる第 2 開放態様により開放状態に制御可能であり、
前記第 2 開放態様により開放状態に制御する場合には、前記可変入賞装置を第 1 期間にわたって開放状態に制御した後、前記可変入賞装置を前記第 1 期間よりも長い第 2 期間にわたって開放状態に制御し、
前記特定演出実行手段は、前記第 2 開放態様により開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示において前記特定演出を実行し、
前記報知演出実行手段は、前記可変入賞装置が前記第 2 開放態様により開放状態に制御されるときに前記報知演出を実行可能である
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行うパチンコ遊技機等の遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示において、特定演出を実行するか否かを決定する特定演出決定手段と、特定演出決定手段により特定演出を実行することが決定されたことにもとづいて、識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段と、可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置を第 1 開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、可変入賞装置を第 1 開放態様とは異なる第 2 開放態様により開放状態に制御可能であり、第 2 開放

態様により開放状態に制御する場合には、可変入賞装置を第１期間にわたって開放状態に制御した後、可変入賞装置を第１期間よりも長い第２期間にわたって開放状態に制御し、特定演出決定手段は、第１開放態様により開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示と、第２開放態様により開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示とで、異なる割合で特定演出を実行すると決定し、報知演出実行手段は、可変入賞装置が第２開放態様により開放状態に制御されるときに報知演出を実行可能であることを特徴とする。

また、始動条件が成立したことにもついで識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段と、可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置を第１開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、可変入賞装置を第１開放態様とは異なる第２開放態様により開放状態に制御可能であり、第２開放態様により開放状態に制御する場合には、可変入賞装置を第１期間にわたって開放状態に制御した後、可変入賞装置を第１期間よりも長い第２期間にわたって開放状態に制御し、特定演出実行手段は、第２開放態様により開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示において特定演出を実行し、報知演出実行手段は、可変入賞装置が第２開放態様により開放状態に制御されるときに報知演出を実行可能であるように構成されていてもよい。

(手段１) また、本発明によるその他の遊技機は、あらかじめ定められた始動条件が成立(例えば、第２始動入賞口１４への遊技球の入賞)したことにもついで識別情報(例えば、飾り図柄)の可変表示を行い、当該識別情報の可変表示の表示結果として特定表示結果(例えば、大当り図柄)が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば、大当り遊技状態)に制御する遊技機であって、遊技媒体(例えば、遊技球)が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させる可変入賞装置(例えば、可変入賞球装置１５)と、識別情報とは異なる普通識別情報(例えば、普通図柄)の可変表示を開始し、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果(例えば、当り図柄、はずれ図柄)が導出表示されたときに、可変入賞装置を開放状態に変化させる可変入賞装置制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ４５５を実行する部分)と、開放状態中に可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示において、特定演出(例えば、図６７(Ｂ)，(Ｅ)に示すような態様の特定演出)を実行するか否かを決定する特定演出決定手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８００１を実行する部分)と、特定演出決定手段により特定演出を実行することが決定されたことにもついで、識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８０１５で選択したプロセステーブルにもついでステップＳ８０１８，Ｓ８５１を実行する部分)とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置を、第１期間(例えば、０．１秒)にわたって開放状態に変化させる第１開放状態に制御可能であるとともに、第１期間とは異なる第２期間(例えば、５．３秒)にわたって開放状態に変化させる第２開放状態に制御可能であり(例えば、図２０(Ａ)に示すように、低ベース状態であるときに、普通図柄はずれとなった場合には０．１秒の短期開放のみ行なわれ、普通図柄当りとなった場合には５．３秒の長期開放が行なわれる)、特定演出決定手段は、第１開放状態中に可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示と、第２開放状態中に可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件の成立にもとづく識別情報の可変表示とで、異なる割合で特定演出を実行すると決定する(例えば、演出

制御用マイクロコンピュータ１００は、ステップＳ６００８でＹのときのみ（すなわち、５．３秒の長期開放が行われた場合のみ）ステップＳ６０１１，Ｓ６０１２の処理を行って特定演出を実行すると決定する場合がある）ことを特徴とする。

そのような構成により、特定演出が単調となることを防止することができ、遊技に対する興趣を向上させることができる。